

“大好き”をあきらめない。



母
僕
を
嫌
い
で
も
母
さん
が
ど
ん
な
に

太賀 吉田羊

森崎ウィン 白石隼也 秋月三佳 小山春朋
斉藤陽一郎 おかやまはじめ 木野花

監督：御法川修 脚本：大谷洋介
原作：歌川たいじ「母さんがどんなに僕を嫌いでも」(KADOKAWA刊)
主題歌：ゴスペラーズ「Seven Seas Journey」(キューンミュージック)

協賛：IMSグループ 特別協力：ホテル三日月
制作プロダクション：キュー・テック 配給・宣伝：REGENTS

©2018「母さんがどんなに僕を嫌いでも」製作委員会

hahaboku-movie.jp

11月 全国ロードショー



友達からも親からも愛されたことがない青年が、 愛を掴みとるまでの感動の実話

主演は、若手実力派の中でも注目株の太賀。代表作と呼ぶに相応しい迫真の演技をみせている。やり場のない哀しみを秘めた母を演じるのは、人気・実力ともトップの吉田羊。さわやかなイメージを覆す鬼気迫る熱演に息を呑む。共演には森崎ウィン、白石隼也、秋月三佳のフレッシュな顔ぶれに加え、木野花ら実力派が脇を固めている。せつなくも、どこまでも強く優しい歌川たいじの原作を『すーちゃん まいちゃん さわ子さん』などの話題作を手がける御法川修監督が、温かいまなざしで丹念に描く。主題歌は、ゴスペラーズが本作のために書き下ろしたラブソング。せつない歌声がエンディングを包み込み、希望の光を照らす。



《 キャストコメント 》

タイジという役の人間的な愛おしさ、たくさんの困難を乗り越えて来たという事実が、何よりも僕を突き動かし、演じるうえでの原動力になりました。心の底から嬉しかったことや、心の底から悲しかったこと、主人公が感じてきた事が何一つとして溢れ落ちないように、全力で演じました。歌川さんの半生を描いたこの作品が、見てくださる方の喜びになれば幸いです。

—— 太賀 (タイジ役)

脚本を読んでも原作を読んでも、この「母さん」に共感できない、なのに気付けばボロボロ泣いていました。「母親像」は人それぞれ。いろんな感想があるでしょうが、観終わったあと「母さんがどんなに僕を嫌いでも」の後に続くのは、愛の言葉だといいな。

—— 吉田 羊 (光子役)

母さんがどんなに
僕を嫌いでも



太賀 吉田 羊

森崎ウィン 白石隼也 秋月三佳 小山春朋 斉藤陽一郎 おかやまはじめ 木野花

監督：御法川修 脚本：大谷洋介 原作：歌川たいじ「母さんがどんなに僕を嫌いでも」(KADOKAWA刊)

主題歌：ゴスペラーズ「Seven Seas Journey」(キューンミュージック)

製作：「母さんがどんなに僕を嫌いでも」製作委員会 (キューン・テック KADOKAWA メ〜テレ 朝日新聞社 ムサシノ広告社 イオンエンターテイメント 北海道文化放送 ケイズクリエイティブ 雪間)
協賛：IMSグループ 特別協力：ホテル三日月 制作プロダクション：キューン・テック 制作協力：ドラゴンフライ 配給・宣伝：REGENTS © 2018「母さんがどんなに僕を嫌いでも」製作委員会

hahaboku-movie.jp hahaboku_movie hahabokumovie

11月 全国ロードショー